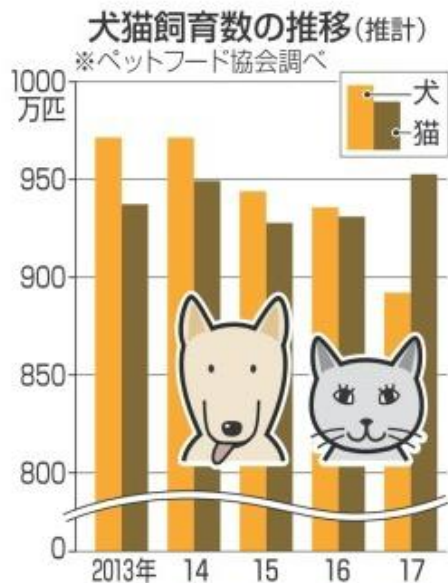


ペットの数 首位に



952万匹、初めて犬上回る



ペットフード協会(東京)は22日、2017年の全国犬猫飼育実態調査で、猫の推定飼育数が1994年の調査開始以来初めて、犬の数を上回ったと発表した。国内の犬猫の飼育数に関する大規模調査は他になく、日本の二大ペットを巡る逆転劇は話題となりそうだ。

同協会は「犬は(動物愛護法改正による規制強化で)繁殖業者が減り、価格が高騰している」などと背景を分析している。

犬を飼わない理由として「十分に世話ができない」との回答が多く、猫に比べて手

間がかかるイメージも影響したとみられる。

調査によると、飼育数は犬が892万匹、猫が952万6千匹。犬は2011年には約1200万匹だったが、減少が続ぎ、一方、猫は900万匹台でほぼ横ばいに推移していた。協会は「犬の減少傾向は当面続くだろう」としている。

家庭で過去10年間に飼育された犬と猫の平均寿命は、犬が14・19歳、猫が15・33歳だった。ペットの高齢化は続いており、今後、高齢ペットの介護の問題なども深刻化しそうだ。

1匹を生産飼うのに必要な経費は、犬が約160万円、猫は約108万円と算出した。

調査は、ペットフードを製造・販売する企業の業界団体である同協会が毎年、インターネットで実施。20代から70代の5万人以上から得られた回答を基に、飼育数を推計した。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前【 】

① この記事の要点を書きまじょう。

② 犬の飼育数が減ったのは、なぜですか？考えられる理由を2つ書きまじょう。

③ この記事を読んでどのようなことを思いましたか？感想を書きまじょう。

NIEワークシート／小学校中学年～中学校／総合、朝NIE